

小学校3年生 国語

# 「モチモチの木」

～登場人物について話し合おう(全11時間)～



# スライド作成にあたって

物語文の単元を構想するにあたり、次の点に留意して作成しました。

- 1 単元の冒頭に、物語文を読む目的意識と相手意識を明確にしました。**  
物語文を何のために読むのかを子どもが明確にもつことは、子どもの読むことへの意欲をかきたて、主体的に読むことにつながるからです。これは、子どもと教師が共有します。
- 2 これまでの物語文の学習に、ICTを活用する場面を位置付けました。**
  - ・「情報の収集」・・・ロイロノートのweb検索
  - ・「考えの可視化と比較」・・・ロイロノートの思考ツール
  - ・「単元終末に、長めの文章を書く」・・・ロイロノートの縦書きカード

# 教材と出会う

(1時間目)

「モチモチの木」を読む目的意識をもつ



図書館に「モチモチの木」の作者、斎藤隆介の作品を紹介するコーナーを作りたいんだけど…。

よし、斎藤隆介の作品を紹介するために、「モチモチの木」を読んでいこう。

子どもと共有



「モチモチの木」を読み、初発の感想を書く

# 教材と出会う

(2時間目)

難語句を調べ，作品世界をより具体的に想像する

「せっちゃん」  
とは？

辞書で調べる

せっ-ちゃん【雪隠】  
《「せついん」の連声(れんじょう)》  
便所。かわや。

\* 紙の辞書の使用を奨励するが，時と場に応じてタブレットを活用する。

百科事典で調べる

\* 画像や動画なども活用できる。  
紙の辞書では得られない情報を獲得する。



写真で見られるのがいいね！

情報の収集

ICT：ロイロノートのweb検索で調べる



# 評価の規準を知る

(3時間目)

## 【評価規準例】

### 子どもと共有

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
図書館の斎藤隆介コーナーを作る。									
花さき山、八郎、モチ、モチの木の共通点を考える。									
本の上									
ポスター									
設定を読む(時入場所)									
一場面の豆太の気持ちは「おなこおいすまの」どれか。									
二場面									
三場面									
四場面前半									
四場面後半									
五場面									
キャッチフレーズ									
一文でまとめる									
あらすじをとらえる									
難しい言葉を調べる									
登場人物の紹介									
斎藤隆介さんの他の作品を読む									
新しい漢字を知る									

### 〔知識・技能〕

登場人物の性格や行動・様子・気持ちを表す言葉を増やすことができる。

### 〔思考・判断・表現〕

豆太の心がどのように変化しているか読むことができる。

### 〔主体的に学習に取り組む態度・感性、思いやりなど〕


自分が考えた豆太の心の変化を友達と伝え合おうとしている。

# 考えを広げ深める


(4時間目)

## 設定（時・人・場所）を読む

斎藤さんは、時・人・場所をどのように設定しているか



- ・秋だと考える。
- ・P126L3に「霜月」と書いてある。
- ・霜月は11月のことだから、11月は秋。



- ・冬だと考える。
- ・P130L1に「雪がふり始めた」と書いてある。
- ・雪が降るのは冬だから。

考えの形成

**ICT：ロイロノートで互いの考えの相違を可視化する**

# 考えを広げ深める

(5時間目)

## 1 場面の豆太の心情を読む

豆太の心の中は

「こわくない」

「こわい」

「すごくこわい」

のどれかを三択で考える

立場ごとにカードの色を指定する。友達との立場の違いを可視化する。

1場面の豆太は、「こわくない」「こわい」「すごくこわい」のどれか

- ・ぼくは「こわい」だと考える。
- ・P122L4に「表には大きなモチモチの木がつつ立っていて～できないのだ。」と書いてある。
- ・「ふるふる」とは、体がふるえるという意味だから。ふるえるほどこわいのだと思う。



**ICT : ロイロノートに自分の考えを書く**



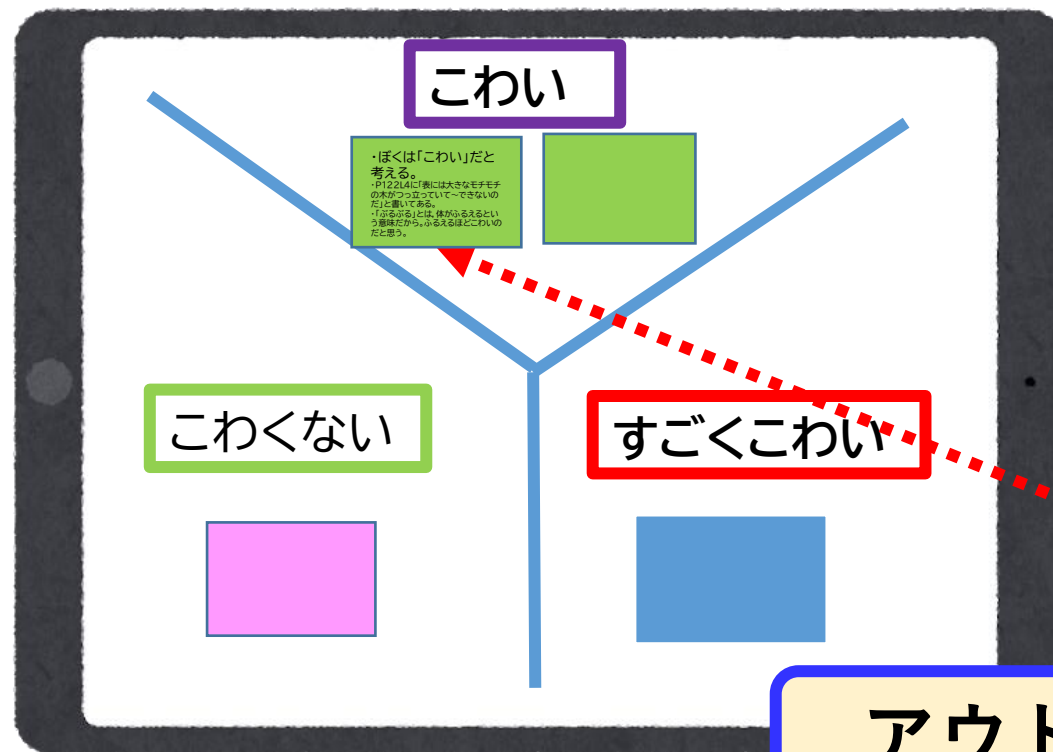
# 考えを広げ深める

(5時間目)

## 1場面の豆太の心情を読む

グループでの  
対話活動

豆太の心の中は  
「こわくない」  
「こわい」  
「すごくこわい」  
のどれかを三択で  
考える



ぼくは、「こわい」  
だと考えます。  
根拠はP O L O に、  
△△と書いてありま  
すよね。ということ  
は…



ICT : ロイロノートのYチャートで、互いの主張と根拠を可視化する

# 考えを広げ深める

(5時間目)



## 1 場面の豆太の心情を読む

豆太の心の中は  
「こわくない」  
「かわいい」  
「すごくかわいい」  
のどれかを三択で  
考える

「かわいい」と考える子どもの根拠  
Aに, Bの子どもの「ほど」を関  
係付け, 豆太の「かわいい」気持ち  
についての読みが深まる。

A: 一人じゃ  
しょうべんも  
できない。

B: 豆太ほど  
おくびょうな  
やつはない。

### 全体での 対話活動

全体共有により、  
様々な考えに触れ  
ることができる。  
考えを比較・関連  
付けながら全体の  
読みをつくる。

### 考えの形成

**ICT: ロイロノートのカードを全体で共有し、比較・関連付けて話し合う**

# まとめる

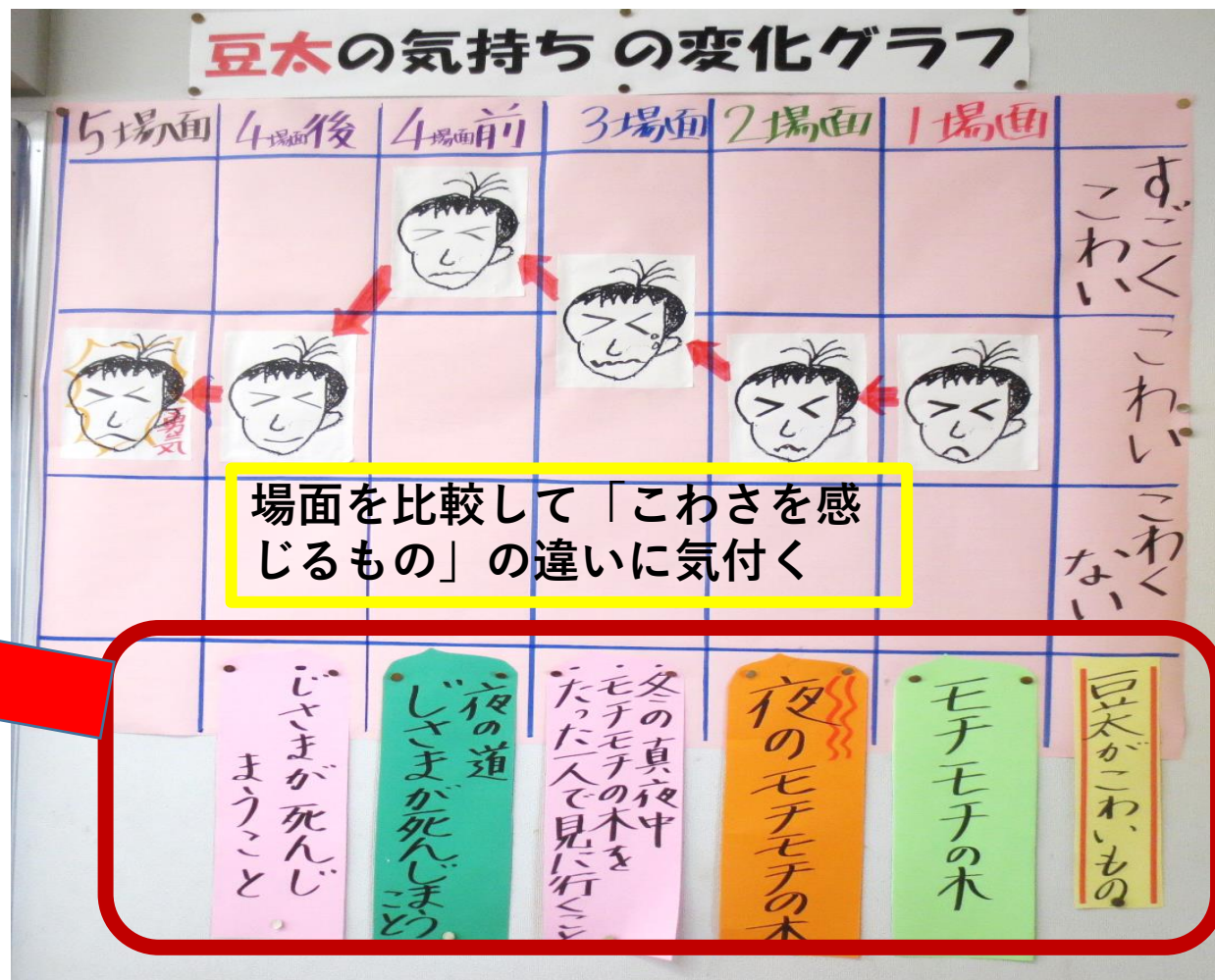
(6～9時間目)

## 2～5場面の豆太の心情の変化を読む

1場面と同じように、場面ごとに読んだ豆太の心情をグラフにすることで、変化を可視化していく

豆太が「こわい」と感じるものは、場面ごとに変わるんだ。  
モチモチの木よりもこわいのは、「大好きなじさまが死んでしまうこと」

作品の主題を考える手がかりになる



# 考えを広げ深める

(10時間目)

「モチモチの木」で学んだ「設定」や「主役の心情の変化」を活用して斎藤隆介の他の作品を読む

並行読書していた斎藤隆介の他の作品から1つを選び、ポスターや本の帯で紹介する。

## アウトプット

ぼくは「花さき山」をポスターで紹介するぞ！



私は「八郎」を紹介するね。  
まず「設定」は  
時：昔  
人：八郎, 村人  
場所：秋田  
だな。

三コ

八郎

花さき山

情報の収集

ICT：ロイロノートのweb検索で、紹介する物語の追加情報を探す

# 振り返る

(11時間目)

## この単元を通して学んだことを文章にする

「モチモチの木」の学習を通して、考えたこと・感じたことを少し長めの作文にする。

- 1 わかったこと・できるようになったこと
- 2 「モチモチの木」での学びを、自分が選んだ作品を紹介する時にどのように使えたか。
- 3 斎藤隆介コーナーが完成したことの感想・願い

モチモチの木の学習を終えて

一、ぼくは、豆太のこわいものは「モチモチの木」だけだと思っていました。でも、豆太がモチモチの木や闇よりもこわいものがあるとわかりました。それは、じさまが死んでしまった一人ぼっちになってしまったことです。「豆太は、大好きなじさまが死んでしまうことの方が、こわかった」という…



長い文章を書くときはノートよりキーボードで打つ方がいいよ。

だって…

- ①間違っても消しゴムでゴシゴシ消さなくていいし、それに
- ②新しく思い浮かんだ言葉を文章の途中に入れたとき、書き直さなくていいもん。
- ③それに、慣れれば短時間でたくさん書けるよ！

**ICT : 長めの振り返りをロイロノートのカードに書く**